



田村正幸

質問

昭和47年に建設されたロープウェー体育館は35年が経過した。この間、青少年の体育の向上や夏季観光に大きく貢献してきました。現在でも夏合宿の体育施設として宿泊業者に大きな貢献をしています。少年野球の雨天練習場等としても利用されています。以前よりロープウェー利用者の景観や観光の町湯沢としてふさわしくない、屋根の錆について指摘をしてきました。あるものを長く大事に使って活用していくことが重要です。そのために修理修繕は必要です。

老朽化や、今後の維持管理費等から取り壊しも含めて検討することですが、鉄筋コンクリート造りであり耐用年数も長いため、屋根と窓枠の錆以外では、施設の構造にかかる老朽化の危険度は、低いと考えられます。収支については19年度で約400万円の赤字になる見込みです。支出については極力節減に努めておりますが、8人の地権者からの借地料が290万円必要のため、これ以上の圧縮は難しいと考えます。屋根の塗装には1千万円、屋根の張替えには4千500万円から5千万円かかると見積もりされ、取り壊しの費用には6千万円から7千万円と見込まれています。町のこれ

その結果についてお伺い致します。

町長答弁

ロープウェー体育館の今後について

からの財政事情を考慮すると軽微な補修で5年ないし10年ほど持たせ計画的に取り壊すことが経済的だと思います。しかし、合宿等での利用による経済波及効果と費用対効果を考慮して少額の経費で継続できればと考えております。

質問

湯沢駅への駐輪場の設置について

又、防犯上も問題が生じています。親の共稼ぎや、生徒のクラブ活動、湯沢高校の閉校等で今後も自転車やバイクでの通学が減ることはないと考えます。湯沢駅への駐輪場を設置すべきと考えますが、お伺い致します。

町長答弁

11月16日、六日町・八海・塩沢商工高等学校の校長、PTA会長から駐輪場設置について要望書が提出されました。

西口広場地下の町道測道帯に自転車6台、バイク21台が駐輪されてきました。駅前広場における安全安心な歩行者空間の創出と良好な環境を確保する観点から、駐輪場整備の必要性は高いと考えますので、新年度に詳細の調査を行い設置場所の選定等を行ったうえで、実現に向けJR東日本株式会社と協議したいと思っております。

町外の高校に通う生徒や父兄から湯沢駅の駐輪場設置について要望が出されています。

湯沢駅の現状は建物に立てかけてあったり、通路の隅に置かれたりと景観上、観光立町湯沢の玄関口としてふさわしくありません。



夏季観光に大きく貢献しているロープウェー体育館